

ちよろちよろ発情魔族娘さんを犯す宿屋なふちCG集。



——この山奥にあるボロ宿には、しばしば魔族が泊まりに来る。
この近くに魔界へ帰るための扉があるためだ。
今日も魔族の少女が一人、人間界での旅を終えて最後の夜を過ごしにやってきた。

「一人で、一泊分頼む……。あとそれと……。、
この宿は、頼めばやらせてもらえるというウワサは
ほ、本当だろうか……。♡魔界へ帰る前に発情期に入ってしまった……。」

魔族の娘は妊娠適齢期になると魔界へ戻り、『魔王様』と呼ばれる巨大な
触手株の苗床になる。そのための強烈な発情期が、しばしば人間界にいるうちに
発現してしまうことがある。



「はむ……♡……ん♡臭い……♡臭いちゃんぽ助かる……♡
魔王様に匹敵するくらい強烈で、メスにされるテンポだ……♡
今からコイツにパソコンパソコンして貰う訳だし、ちゃんと
奉仕してやらないとな……♡」



「んんっ……♡ちよっ♡わっ♡ダメっ♡おちんちん
ぶるぶるして……っ♡イってるっ♡おちんちんから
精液どぴゅーっしてるっ♡精液が尿道を通り抜ける
感触が、舌越しに伝わってっ♡はああああっ♡♡」



「な、なんてチンポだ……♡孕ませ汁を……こんなに大量にぶちまけて……♡どうにかなるかと思ったぞ……♡見る。床に放たれた精子たちが行き場を求めてプルプル泳ぎ回ってるぞ♡……まだ尿道に精液がいっぱい残っているな♡ちんぽ越しても分かるほどの濃厚さだ♡」

ビロォッ

フ〜

フ〜♡

ビキ♡ビキ♡





「んえあ♡…ほりや、見て？アナタの精液♡
舌の上でピチピチ跳ねて♡舌がピリピリすりゅお♡
こんじゃモノ喉を通したら…んんっ♡いったい
どうなっちゃうんだ…♡♡」

「んん…っ♡んつく…♡こ、濃ゆくて飲み込めない…っ♡
く、口の奥の味を感じる部分に、いつまでも張り付いて…♡
強い精液の味…っ♡ずっと感じ続けてしまっ…っ♡
んぐう…♡ようやく飲み込め…♡んんんん♡喉まん♡
精液通って…っ♡は、孕みゆっ♡喉まん♡キョんキョんして…っ♡
妊娠すりゆう…♡」





「もっと精子の味を楽しみたかったけど、これ以上床を汚しても良くないよな……だ、だから私の発情まんこにおちんぽ差し込んで、中でびゅーびゅーしてください……♡」



「ふっ♡うっ♡おちんぽ見せられて
私の尿道がぴゅっぴゅっで、媚び汁
吹きかけてしまっ♡…♡」



「おおおおお……っ♡ほおおおおお……っ♡
アナタの精子が子宮の中で暴れて……♡
子宮っこのザーメンのモノにされるっ♡
♡♡♡」

「あああ……♡はー……♡だ、
ダメだ……♡子宮が……♡っ♡
もうあと一押し……♡っ♡
もう一突きされるだけで完全に
人間チンポに負けて妊娠して
しまおう……♡♡
これはタダの性欲処理の遊び
セックスだからあ……♡っ♡
私の魔王様専用の苗床まんこ、
人間相手に本気受精して
寝取られる訳にはいかない
の……♡♡♡♡♡」



「あーっ♡ダメだめえっ♡
チンポ挿入されて子宮突かれて
しまったあっっ♡♡♡
後はもう私のザーメンタンクに
パコパコ刺激を与えられて
ニンゲンちんぽに突かれる
気持ち良さ、覚え込まされて
しまうだけだあぁっっ♡♡♡」



「はああつ♡んああつ♡はうんつ♡
もうダメっ♡自分から腰ふつて
おちんぽで子宮イジメてもらって
しまうつ♡♡さっきの何倍も
気持ちイイっ♡♡
自ら敗北認めて人間ちんぽ様に
マンコ壊してもらって受精するの
最高にシアワセ感じてしまうつ♡♡」

はんこ♡
おちんぽ♡

おちんぽ♡

おちんぽ♡



「えあ……っ♡あ……っ♡あっ♡あっ♡
子宮……精液に沈むうっ……っ♡♡
子宮の中も外も精液漬けで
まんこ堕ちりゅうううう……♡♡♡♡」



「ンおおお~~~~~っ
おおお~~~~~っ
まんこ完全に破壊されちゃい
まひたあ~~~~~♡精液
溢れるの止められまじえんシ
わ、わらし何やって~~~~~
この方のちんぽシゴキ穴に
なっちゃったって事以外
何も分からなくなっちゃい
まひたあ~~~~~っ♪♪♪」



——魔族の少女はそのまま朝まで犯され続け、
チエツクアウトの時間が来た。

「ふふ……っ♡私のおまんこ、本当に
アナタのモノになってしまった……♡♡」

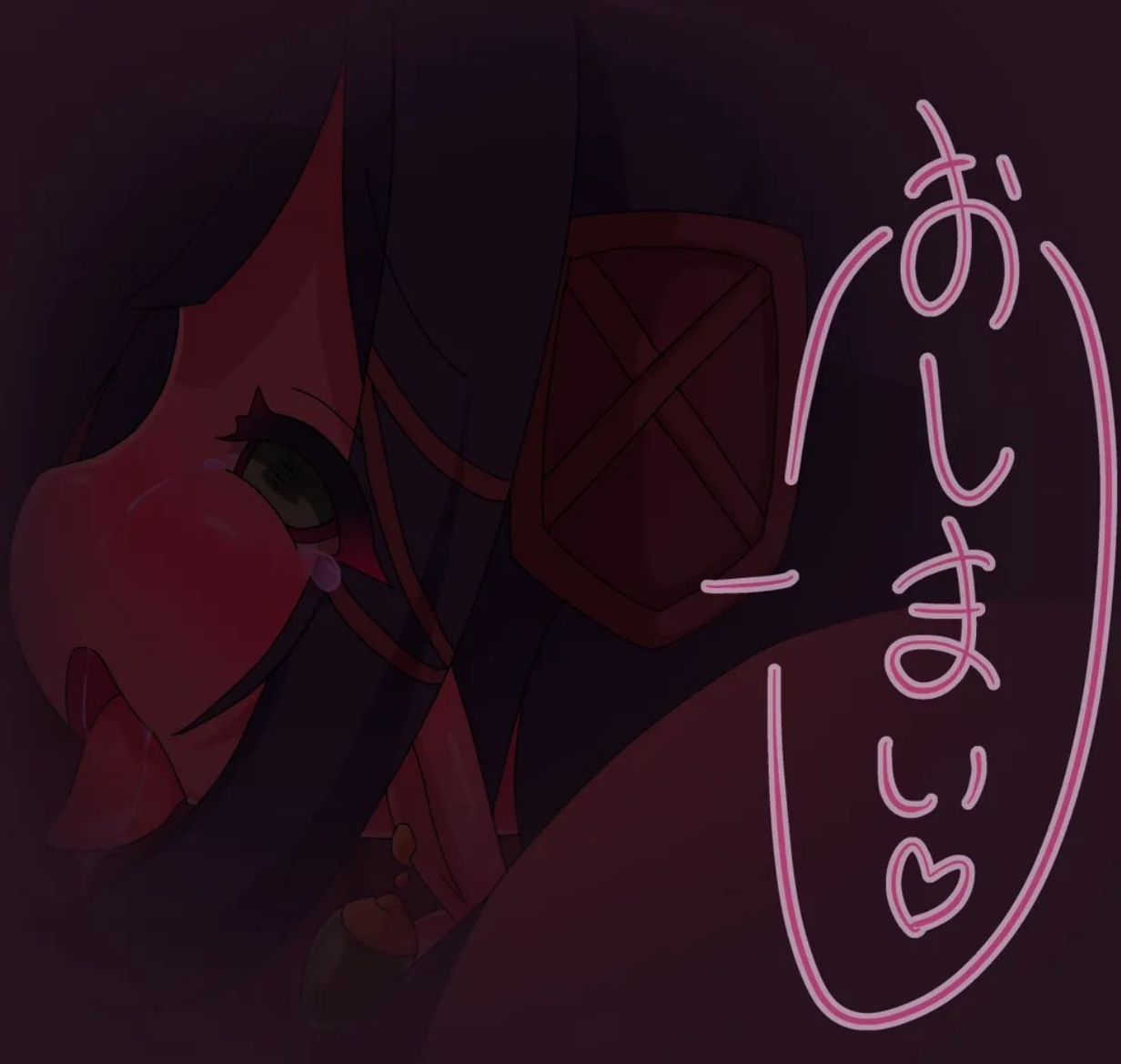
「ま、またちよくちよく犯されに来てもいいか？」

宿屋の主人が首を縦に振ると、魔族の少女は
嬉しさに身を震わせた。

「……魔王様、申し訳ありません♡私はもう
アナタの苗床にはなれませんが♡これからは
この人間様のチンポシゴキ穴として生きていきます♡」

——人気のない山奥の宿屋は今日も、発情期のちよるい魔族娘が来るのを
のんびりと待ち続けているのであった。





奥付

タイトル: ちよろちよろ発情魔族娘さんを犯す宿屋なぷちCG集。

作者: handa

サークル: Fの部屋

メール: fnoheyakara@gmail.com



































